

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年8月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104522
法人名	医療法人サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島市上之園町29番地14 (電話) 258-7113
自己評価作成日	平成22年7月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年8月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所ではあるが、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。
人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常が過ごせるように日々努力している。
認知症の症状の進行した方でも、適切な対応ができるようにスタッフ全員研修を受け取り組んでいる。階下の医療機関は人工透析も行っているため、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

☆、日常のありのままの支援の中に、利用される方々の生活があるとの視点から、「日常」を重視し、利用者に寄り添い、個々の力量に応じた自立への支援に取り組んでいる。また、イベントについても力を注いでいる。

☆代表者・管理者・職員のサービスの質向上への取り組みにより、家族からの高い信頼と評価が寄せられている。

☆医療連携が緊密に取れており、利用者や家族から安心して介護を委ねられている。

☆清潔な中にくつろぎのある生活空間をつくり出している。

☆職員がサービスの質向上のために、研修など常に努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中で暮らし「人としての尊厳」を大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、常に職員は理念を念頭に置き支援している。	介護のあり方を問い考える拠り所として、常に理念を根拠にし、管理者・職員は理念について共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の施設として認知頂ける様に働きかけている。また、困った事など相談、助言を行っている。	町内会に加入し清掃活動や回覧板など役割を担い地域と交流している。地域からの利用者が多く、家族は面会時に他の利用者とも言葉を交わしたり、法人内のデイケア利用者との交流もしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが、民生委員、家族等のつながりで、共に認知症の理解が出来るようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの現状や取り組み状況を報告し、それぞれの立場から意見を聞くことで今後に生かしている。又家族の認知症に対する悩み等も聴くことができ、連携が取れる場所となっている。	奇数月第4火曜日に定期に開催し、行政・家族・利用者等の参加の下で、指導監査内容の報告など具体的に意見交換がされている。家族からの意見や要望については、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の安心安全課や消防などに災害時の対応や、避難訓練の方法などを確認してもらっている。</p>	<p>会報「ゲンキ館だより」を届けたり、苦情相談・管理運営上のことなど担当課と連携を図っている。また、安全管理担当課との連携も取り、避難訓練対策など相談している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月一度の法人内の会議において身体拘束の共通の認識や実態確認を行い、身体拘束につながらない様に努めている。 玄関の施錠についても家族に理解を得た上で、安全に配慮しながら自由な暮らしを支援している。</p>	<p>定期的な研修により、身体拘束について、身体のみならず、言葉や心理的拘束についても、身体拘束をしないケアを実践している。 玄関は、口頭説明による家族からの了解の下で施錠している。</p>	<p>玄関の施錠について、そのあり方やその時の状況など種々の要素を含め各面から検討されることが期待される。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に関する知識を職員全員が共有し、入居者の小さなサインや訴えを見逃さないようお互いが注意を喚起しながら虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>機会を設けて基礎的な理解ができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居者の状態変化時の対応も含めた丁寧な説明をし、質問に答えながら理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会や担当者会議の際に他職種の方々とも話せる機会を設け、得られた意見、不満、苦情等は必ずミーティングで解決策を検討し、運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは日常の対応の中で意向を把握してる。また家族とは面会や意見箱を通じて要望などを聞くように努めている。特に日常の会話を大切にしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>法人内の会議において問題点や意見を出し、事業所で検討し提案出来るようにしている。その後、協議を重ね改善策などに反映している。</p>	<p>週1回のスタッフミーティングで意向を出し合っている。散歩時の雨の対策や勤務体制など、出された意見・要望を運営に取り入れている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>責任者を通じて把握に努め、問題があるときは協議を重ねながら、継続して勤務できる職場環境の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各研修の案内等を回覧し、積極的に参加する機会を得ている。参加しやすい勤務の配慮をし、受講後も報告や発表を通じて、日々のケアに生かせるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流はあるが勉強会やネットワークづくりには参加していない。他施設の見学や訪問をしサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	先入観を持たずに、現在の本人を理解する様に努め、話を十分に聞きながら本人の思いが受け止められるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の入居者に対する思いや不安を受け止め、問題点や悩みなどを家族の立場になって傾聴し、信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホームへの入居が本当に今適切なサービスかどうかも含めて、主治医の意見も参考に見極め、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年配者への尊敬の念を持って接し、経験や人生観を聞いたり、出来る作業を一緒に行いながら日常の中から学び支え合う関係を築くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族と連携を保ち、職員の出来ない事は、家族にお願いするなど協働しながら本人を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援	同じ建物にあるデイケアや施設の方々と定期的に交流を図り、外で会っても挨拶が出来る、馴染みの関係を築いている。	利用者近隣の人が多く、定期的に自宅に帰る人や、馴染みの場所に出かけたり、友達が訪ねてきたりする。墓参、結婚式への参加、法事への出席など関係性継続への支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同じフロアで生活する事で、家族のような関係を築き、言いたい事や、気づいた事はその場で解決する様にし、お互い声を掛け合うように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後に訪問されたり、馴染みになった方々は、お茶を飲みに来たりしている。様態の変化による入院の場合、可能な方には面会等行い関係を保っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で信頼関係を築き、言葉や表情の変化から思いを汲み取り把握している。どんな方でもその人らしい生活が送れるように努めている。	ゆっくりとした丁寧な係わりの中から、本人の思いや意向を把握している。言葉での表現が少ない人からは態度やしぐさで汲み取るようにしている。また、家族と協議しながら本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や馴染みの方々の話と本人の職業歴などを参考にしたり、自宅で行っていた事などを継続出来る様に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活リズムやペースを大切にしながら時間もかけても、その方のペースに合わせて職員が動くように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族や他の関係職種の方々の参加で担当者会議を開催し、本人や家族の意向を反映できるようにしている。関係スタッフと一緒にアイデアを出し合い計画作成している。	定期的にモニタリングを行い、状態変化時にはその都度介護計画の見直しをしている。介護計画は本人・家族・主治医の意向を踏まえてスタッフで協議して作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の工夫などをスタッフ間で共有できるように個別記録し、朝の交代時に申し送りしている。状態変化が見られた場合は見直しを行い、現状にあった介護計画書を作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関でのリハビリテーションの利用や、大浴場でゆったりとした入浴に加え、他事業所との行事等の交流も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の協力や助言を得たり、校区の児童クラブの子供達と交流を図っている。馴染みの友人や、近隣の方々が面会に来たり、引き続き地域の一員として暮せる様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望をまず優先し、納得の得られた形で殆どが階下の協力医療機関がかかりつけ医となっている。迅速な対応と報告により、適切な受診が出来る様に支援している。	かかりつけ医での支援をしているが、家族の希望により、協力医療機関での受診となっている。介護と医療の連携が密な支援となり、家族も安心感をもっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師もスタッフとして参加してもらう事により、スタッフの意識、知識向上につなげて受診や、看護を受けられる様に支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には主治医より紹介状の提供を確認している。日々の状態や支援に関しては医療機関に介護連絡票を提供し早期に退院が出来る様に情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化や終末期におけるホームの方針や体制を説明し、意向の確認を行っている。また状態変化時には再度、説明と意向の確認を行っている。方針の明文化に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期への対応について、文書化はしていないが、ホームの方針を家族に伝え、納得してもらっている。状態変化時には主治医や家族と緊密な連携により情報を共有した支援をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や急変時のマニュアルを作成し応急手当や初期対応を訓練し実践に生かしている。容態の変化時には事前に医療機関からの適切な対応、助言を得ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防や市の安心安全課の協力をもらい避難訓練等を行いマニュアルも作成している。また近所に住まいの方にも協力をお願いしている。	消防署の協力を得ながら、昼・夜間想定避難誘導訓練を実施している。地域への協力依頼もしている。災害時用の食料等の備蓄もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティング等で目上の方として尊厳に係わる事である認識を深め、特に馴れ合いからくる言葉使いや態度については気をつけお互いに注意し合い、指導が行われている。	排泄介助時や食事介助・整容など、支援のそれぞれの場面で一人ひとりの人格やプライバシーに配慮したケアをしている。入職時に個人情報保護の誓約書も取っている。ホームの方針として馴れ合いにならないよう取組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は一人ひとりの個性を捉え、その時々を思いを汲み取りながら働きかけ、自己決定が出来ないと思う人でも声掛けを行いながら、本人の希望が叶えられる様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースを尊重しながら皆で過ごせる時間も確保し、体調に配慮しながら入浴や食事の時間もできる限り柔軟に対応できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みや希望を尊重し、更衣や服の選択などを楽しみながら行えるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は出来ることをお願いし、食事の時間は楽しい雰囲気になる様に心掛けながら支援している。	利用者から希望の食事メニューを聞き、意向に沿った楽しい食事ができるように支援している。話しかけながら丁寧な食事介助も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者それぞれに合わせた食事量や水分量を記録し把握している。食事形態や栄養バランスも管理栄養士に相談しながら調整し、好みの飲み物や、おやつを用意し個別に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを行い、毎回口腔内の様子を確認している。定期的に協力歯科医院の指導、助言も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツの活用や、サインや時間を把握し定期的なトイレ誘導や食後のトイレ誘導を行っている。失禁等の場合でもプライバシーの確保と清潔が保て気持ちよく過せるように対応している。	排泄パターンを把握し、トイレ誘導により、生活リズムをつくり、排泄の自立につなげるよう取り組んでいる。事後処理から事前支援へ成功事例が多くなってきている。日中はリハビリパンツをしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎回排泄チェック表に記入して把握し、便秘の原因については主治医の指導も得ながら、繊維の多い食事や軽い運動などで予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日の目安は一応決めているが、本人の希望に沿って、いつでも入浴できるように柔軟に対応している。	ほとんどの人が入浴好きで、希望すればいつでも入浴できるように支援している。他施設の大浴場で皆と一緒に入浴し交流を楽しんだりすることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を通しておおよその生活リズムは作られている。体調などを考慮し休息したり、ホールのソファでくつろいだり、穏やかに過ごせるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりの薬の内容を処方箋で確認し理解している。状態の変化が見られた場合は主治医に報告し連携を図り、情報の共有につとめている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月ごとに飾り付けを変えたり、得意な事や、出来ることを無理なくレベルに応じて行ってもらい、楽しみや、気分転換になる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	体調に応じて散髪や、近隣に買い物に行ったり、家族と自宅の様子を見に出かけたり外泊できるように支援している。	天気の良い日は車椅子の利用者も一緒に散歩に出かけている。他施設にリハビリに通ったり、馴染みの理・美容室の利用を職員が同行し支援している。花見や買い物へのお出かけも楽しみにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理ができる方には財布を持っていただいたり、買い物に行く時は、お金を自分で払えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者が家族に電話で用事を頼んだり、友人から手紙を頂いたりしている。個々の力量に合わせて、家族と文通したりできる様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>生活空間には十分な広さと空間があり、和室、調度品、季節の作品などの配置により家庭的で生活観や季節感のある雰囲気作りに工夫している。空気の流れ替えや、温度調整にも気をつけ、共用部分は清潔を保ち居心地の良い環境作りを心掛けている。</p>	<p>当ホームはビルの4階部分にあり、共用空間は眺望がよく、広々として、天井も高く解放感がある。季節の飾り付けで、季節感が出るように工夫し、調査時の七夕飾りには、それぞれの願いが書き込まれるなど、居心地のよい暮らしの場となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>馴染みの席を作り食事やゲーム工作など、気の合った同士で、和気あいあいと話せ楽しい場所の提供ができる様に工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人や家族と相談し馴染みの物や好みの物を選び持参してもらうことで、安心して出来心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>夫の写真・孫の結婚式の写真・曾孫が描いた絵・馴染みのある家具・備品などを持ち込み、利用者は清潔でゆとりのある部屋で安心して暮らせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室、玄関や廊下など安全に過ごせるように環境整備し、一人ひとりの状態や残存機能が維持でき、自立へ向けて活かせる様に工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない